

三エース専修

「専修大学」ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部590円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 1 大学院経済学研究科にエコノミックスリサーチコース16年度開講……
- 2 商学部創立50周年記念特殊講義「ビジネス・インサイトⅡ」……
- 3 文・板坂ゼミ生 まんがで読む古典入門書の編集に協力……
- 4 校友・井坪さん毎日書道展「毎日賞」/ 専友会支部懇談会日程……
- 5 校友会 新会長に小宮多喜次氏/ 定時総会開催……
- 6 石巻専修大学 経営・庄子ゼミ 街歩きイベント/ 女子競走部活躍……



オープンキャンパス

申込不要 入退場自由

7/19	神田 SUN.
8/1	生田 SUN.
9/13	生田 SUN.
11/1	生田 SUN.
2016 3/20	生田 SUN.

すべて 10:00 ▶ 15:00
入学センターインフォメーション
(神田キャンパス) TEL 03-3265-6677
(生田キャンパス) TEL 044-911-0794

就活本格化 夏の挑戦

就職特集

4・5面

自己分析が大事

いよいよ夏本番。今年「日」となる。就活生には将は就職活動スケジュールを決めるための挑戦の日が企業の選考活動解禁。ただこのスケジュール



「就職活動はつらいけど、自分を見つけるチャンス」と前向きに語る就活中の4年次生。7月4日、専友会就職懇談会

は経団連の指針であり、実際には既に就職活動は本格化している。就職指導委員会委員長の見目洋子商学部教授は、かつての就職氷河期も専大生は乗り切ったことを挙げ、「今年は景況もいい。お

おらかに構えて、社会に出る切符をどのようなものにするか考え、自分にとって大切な時間になるよう行動してほしい」と説く。

4年次生にとって最も大事なのは自己分析。「自分をよく見直し、自分らしさを確認して」と呼び掛ける。その上で、ネット情報ではなく、自分の目と耳と足で希望の業界・企業を確かめることが大切と指摘する。

3年次生以下の学生もさまざまなことにチャレンジする夏になるだろう。学業、留学、サークル活動、インターンシップ、ボランティア……。通常の学内だけの活動を超越して、積極的、実践的な活動をひとつはしよう」と見目教授。それはきつと、これからの人生の宝物になるだろう。さあこの夏、あなたは

何に挑戦しますか。

生田 新2・3号館建設始まる

生田キャンパスの新2・3号館(仮称)の新築工事が7月から始まった。学生が積極的に学ぶアクティブラーニングの中核施設と、大学院の研究環境を整備すること、社会知性の開発の新しいシンボルになると期待される。

新2・3号館は2011年の東日本大震災で被害を受けた旧2・3号館跡地に建設。延べ床面積は計9794平方メートル。2号館は地下1階地上2階建て。音響・映像設備が充実したアクティブラーニングスタジオと、200人程度収容できるラーニングシアターを中心に、学生参加型の創造的な授業を行う場となる。ガラス張り、隣接する生田緑地に溶け込むよう



な。16年12月完成予定で、17年4月から使用される。

7月8日に行われた地鎮祭には約80人が出席。日高義博理事長や矢野建一学長はじめ大学・工関係者が工事の安全を祈った。写真。

日高理事長は「学生が積極的に勉強する空間が出現するのを楽しみにしている」と語った。また矢野学長は「19年の専修大学創立140年に向けて、新2・3号館をベースに、さらに飛躍したい」と述べた。

石巻市が石巻専修大に多額寄付



日高理事長(右)と亀山石巻市長

学校法人専修大学は、高義博理事長が石巻市の宮城県石巻市より多額の寄付を頂いた。寄付は、石巻専修大学創立25周年記念事業を支援するもので、今春完成した「石巻専修大学ユニバーシティハウス」(学生寮)の建設に寄与するものとなった。

これを受け6月30日、日高義博理事長が石巻市の亀山市長を訪ね感謝状を贈った。日高理事長、亀山市長とともに、今後も地域に根ざした大学として人材育成などで協力しあうことを確認した。

石巻専修大学は1989年、石巻圏域の要請を受け開学。周辺自治体と連携し、数々の事業を行っている。また2008年には石巻市と地域活性化や産業振興などに関する包括連携協定を結ぶなど関係は深い。11年3月の東日本大震災では避難者を受け入れるとともに、市の要請を受けボランティアセンターを設置。震災直後から学内に「復興共生プロジェクト」を立ち上げ、宮城県や石巻市とともに、防災に関わる事業を展開している。

石巻市周辺では、東日本大震災の影響により学生の住居確保の必要があったことから、学生寮整備に石巻市も支援の意向を示した。

市役所を訪ねた日高理事長は「多大な寄付を頂きありがたい」と感謝。亀山市長は「石巻専修大学はこの圏域で重要な位置づけ。大学や学校法人専修大学と連携しながら地域を活性化していきたい」と語った。

日本語表記 変遷たどる

知的探訪公開講座
日本語の表記の特徴をひもとく専修大学知的探訪公開講座「日本語の風景—文字はどのように書かれてきたのか」が7月



▲ 日本語の文字の表記について紹介した図書館企画展=7月4日

4日、生田キャンパスで、専修大学図書館編の選書「SI Libretto 日本語の風景」の出版を記念している。講師を務めたのは、選書の執筆者の一人である斎藤達哉文学部教授(日本文学)。古典籍では日本語を書くとき、本の内容によって使用する文字が異なることを説明した。事実の記録や知識の供与の場合、漢字が主体で補助的にカタカナを使用。一方、物語や絵が挿入されている観賞目的のもの、かな文字が主体で漢字は抑えられている。「漢詩漢文が正式というライフスタイルが長く続いた。明治期の『専修学校創立主旨』も漢字十カタカナという表記になっている」と解説した。

生田図書館では、選書や講演で使用した古典籍を展示した企画展「和(やまと)し」うるわし—日本語の風景—を1~10日に開催。絵巻物やさまざまな時代の古典籍25点を展示し、日本語表記の変遷をたどった。

4日は斎藤教授によるギャラリートークもあり、参加した市民は熱心に絵巻物などを見比べていた。